

## ■新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ

新型コロナウイルス感染症予防の為、下記の対応を取らせて頂いております。尚、この対応は厚生労働省から発出された「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」に基づき、全国老人保健施設協会からの緊急要請によるものです。皆様には多大なご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

- ①入所、短期入所、通所リハビリテーションのサービスを利用前に37.5度以上の発熱や呼吸器症状がある場合は、利用を見合わせて頂きます。
- ②家族様等のご面会は原則禁止します。但し看取り等、緊急止むを得ない場合は、検温を行なった上で許可させて頂きます。
- ③家族様による洗濯物の回収、お届けは可能です。職員が対応しますので、事務所へお声掛け下さい。取り次ぎは午前8時30分から午後4時30分までの間とさせて頂きます。
- ④利用者様の外出外泊は可能です。但し帰所した折に検温し、37.5度以上の発熱や呼吸器症状がある場合は、家族様の責任にて自宅へお戻り頂きます。
- ⑤上記対応を徹底する為、正面玄関からの出入り及び窓口対応は、午前8時30分から午後4時30分までとします。

※この対応は今後の状況の変化に応じて変更する可能性があります。ご承知おき下さい。

以上

## ■リハビリ通信



2月12日からの3日間、滑川中学校の社会体験チャレンジを受け入れました。当施設での体験を希望した中学生6名が参加し、利用者様と交流しました。中学生と利用者様とのチーム対抗でゴルフ大会を行い、競技は白熱しました。元気な中学生と一緒に活動に取り組み利用者様も笑顔が溢れていました。

## ■スタッフブログ

広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等を載せています。是非一度下記URLにてご覧下さい。

<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care>

## 編集後記

待ちに待った春がやってきました。敷地の桜も満開となり、利用者様とお花見をしています。

編集責任者 金子 弘幸



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873  
TEL0493-56-6123 FAX0493-56-6124

## 「自分らしく生きる為に」



支援部 事務課  
係長 金子 弘幸

私は当施設に入職し、今年10年目を迎えました。事務員として入職した私は、日々の業務の中で利用者様との接点を見い出せずにおりました。そこで少しでも接点を求め、昼休みの休憩時間を利用して入所されている利用者様のフロアに上がり、毎日直接お話させて頂く時間を作りました。やがて利用者様に少しずつ顔と名前を覚えて頂ける様になり、とても嬉しかったことが昨日のこの様に思い出されます。元々人とコミュニケーションを取る事が好きだった私は、利用者様との会話がとても楽しく、今でもその時間を大切にして毎日利用者様の許へ足を運んでいます。

そんな中、多くの利用者様の「家に帰りたい」という言葉を耳にして参りました。その想いが言葉だけでなく、表情からもしみじみと伝わってきます。私にはその心情が理解出来ました。何故なら若輩の私ですら住み慣れた地域や家で暮らしたいと思う気持ちがあるからです。ましてや高齢になれば、なおさら永年暮らした場所への愛着があるのではと容易に推察出来ます。

いづみケアセンターはリハビリテーション施設です。在宅復帰施設でもあり、在宅生活支援施設でもあります。私達の取り組みの原点は、この「家に帰りたい」という利用者様の切なる願いにあると思っています。私はその願いがきちんと形になり、自分らしく笑顔で暮らせる日々が来ることを願ってやみません。それを具現化する為に、「やるべきことは全部やる」という決意で職務に邁進したいと思います。やがて利用者様が在宅に戻られた折には、住み慣れた場所でいつまでも自分らしく暮らしていける様に、ショートステイや通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション等で継続して支援させて頂きます。

介護に不安をお持ちの方も多と思います。100人の利用者様に100通りの人生があります。その其々の人生にしっかりと向き合い、その方に適した介護サービスを提供致します。ターミナルケアにも対応します。介護に不安や悩みがある時には、一人で悩むことなく、いつでも、どんなことでもご相談下さい。いづみケアセンターを利用して良かったと感じて頂けるサービスの提供をお約束致します。

すべては利用者様のために・・・

# 施設の行事

## うどんと豚汁作り



3階1番館では利用者様と一緒にうどんと豚汁を作りました。うどんを打つ作業では皆様昔取った杵柄で話も弾み、楽しく作ることが出来ました。豚汁作りでは皆様に食材を切って頂きました。皆で丹精込めて作ったうどんと豚汁はとても美味しく好評でした。

## 餃子作り

2階4番館では餃子作りを行いました。当日は野菜の下準備から餡を皮に包む工程まで行い、「久しぶりだから・・・」と遠慮がちな女性利用者様もひとたび包丁を握ると真剣な表情で見事な包丁さばきを見せていました。出来上がった餃子は中華料理屋に負けない程の美味しさでした。



## 中庭に芝桜を植えました



満開時の河津桜

中庭の河津桜の周りに芝桜の苗の植え付けを行いました。中庭には大勢の利用者様が集まり「昔はこういうことを良くやったんだよ」と思い出話も聞かせて下さいました。中庭には皆さんの笑顔が溢れ、賑やかな時間が流れました。これからの芝桜の成長が楽しみです。

## 新春紅白歌合戦



2月9日に利用者様と職員で「新春紅白歌合戦」を開催しました。紅組と白組に分かれて皆それぞれが自慢の歌を披露しました。中には仮装する職員もいて、会場は終始笑い声が絶えませんでした。皆様「久しぶりにこんなに笑ったよ」、「とても楽しかった」等、嬉しいお言葉を頂戴しました。

## 通所課 カレンダー作り



レクリエーションの一環でカレンダー作りを行っています。その月ならではの題材をテーマに工作を楽しむ人気の企画です。

## 職員が特別賞を受賞しました



通所課介護職の森田和裕さんがオーストラリアで開催された INAS グローバルゲームズ ブリスベン大会に出場しました。1万メートル走で金メダルを獲得、その功績により日本障がい者スポーツ協会から特別賞を受賞しました。森田さんおめでとうございます。今後益々の活躍を期待しています。